

働き方改革通信😊

No.18 令和3年(2021年)3月4日発行

発行：函館市教育委員会学校教育課

教育政策推進室教育政策課 Tel: 21-3523

gakko-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

管理職を対象とした働き方改革に関する研修会が開催されました😊

本年1月7日に、函館市南北海道教育センター主催で管理職研修会が開催されました。今回は、「学校における働き方改革の推進～さらなる業務改善に向けて～」と題し、株式会社フィールビート代表取締役 松浦 貴昌 氏を講師として、オンラインにより開催されました。

研修の全体

- 1 働き方改革とは何か？
- 2 なぜ、働き方改革をしなくてはいけないのか？
- 3 働き方改革の心構えとポイント
- 4 働き方改革の土台
- 5 改革を成功させる8段階のプロセス

本研修は、講師による講話と小グループに分かれたセッションを交互に行い、投げかけられた質問、課題等に対し、参加者が自ら考えていく時間に重点をおかれていました。



松浦氏は、「北海道の学校における働き方改革の手引 Road」の作成に協力された民間コンサルタントです。

研修の前半では、働き方改革とはそもそも何か、なぜ働き方改革をしなくてはいけないのか、その社会的背景について、また「業務が増え続けるメカニズム」について、さらには「働き方改革における校長の心構え」や「現状維持バイアス」にとらわれないことなどについて、小グループによるセッションと講師による講話が行われました。



研修の後半では、働き方改革の土台として、「関係性の質をあげる」こと、「心理的安全性を高める」ことの大切さが話されました。次号以降で詳しく特集します。

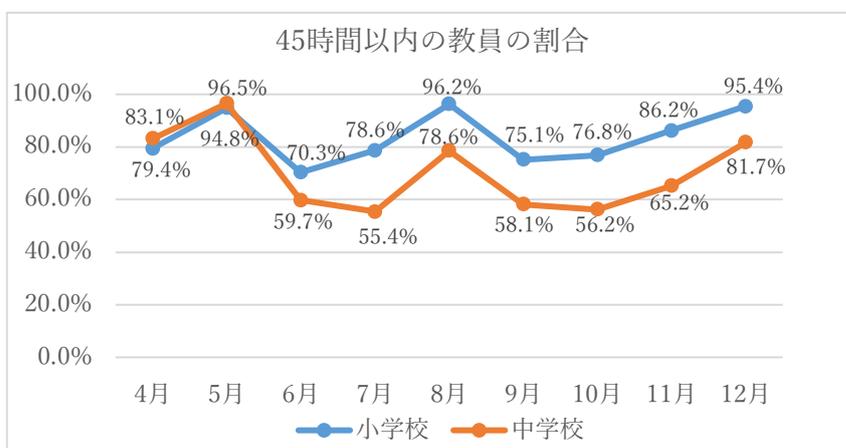
※「関係性の質」はMIT教授のダニエル・キムが提唱した「組織の成功循環モデル（システム思考）」において、「心理的安全性」はgoogle社が「チームのパフォーマンス向上のためには、心理的安全性を高める必要がある」と発表したことにより注目されているものです。

特に学校経営を担う管理職の先生方にとって、働き方改革という視点だけでなく、組織経営という視点からも大変興味深い研修となったのではないのでしょうか。

時間外在校等時間の実績について😊（4月～12月分）

本市では、本年4月からC4thの機能等を活用し、教職員の出退勤時刻を客観的に把握する取組を始めています。

このたび、4月～12月分までの小・中学校の実績を整理しましたので、お知らせします。



「教職員の業務改善のための取組」は[市ホームページ](#)からご覧いただけます😊

このほか、「こういう情報がほしい」などのご要望がありましたら、教育政策課にお知らせください。